

公益財団法人 大隅基礎科学創成財団

第 2 期（2018 年度）事業報告

（2018 年 8 月 1 日から 2019 年 7 月 31 日）

報告内容

I. 事業の実施状況

- | | |
|-------------------------|---|
| 1. 基礎研究の助成事業 | 2 |
| 2. 研究者と社会との新たな連携を構築する事業 | 3 |

II. 管理業務

- | | |
|------------------|---|
| 1. 財団の体制整備に関する事項 | 6 |
| 2. 理事会及び評議員会の開催 | 6 |
| 3. 選考委員会の開催 | 7 |
| 4. 寄付・会員の状況 | 7 |
| 5. 広報活動 | 8 |

公益財団法人 大隅基礎科学創成財団
第2期（2018年度）事業報告
（2018年8月1日から2019年7月31日）

当財団は、日本社会の科学基盤の発展に寄与することを目的として、2017年8月9日に一般財団法人大隅基礎科学創成財団として創設され、2018年8月1日に公益財団法人に認定された。

第2期は、公益財団法人として、体制の整備・強化を進めるとともに、第1期に引き続き、基礎研究の助成事業、及び研究者と社会との連携構築事業の2つを柱として活動を拡大した。事業を支える管理業務を適切に実施するとともに、活動の原資となる寄付・会費の募集活動も継続して実施した。第2期の事業の実施状況、及び管理業務について報告する。

I. 事業の実施状況

1. 基礎研究の助成事業

第2期は、酵母の基礎研究に加えて一般生物学研究の助成を開始した。研究助成の公募については、財団ホームページに公募要項・申請書を公開し、関連学会への広報を行い、広く応募を募った。2018年9月3日～10月15日の応募期間に全国から、基礎科学（一般）29件、基礎科学（酵母）17件の応募があった。選考委員による書類審査の後、選考委員会を開催して厳正に審査し採択候補を選定した。採択案は、2019年1月29日の理事会で承認された。

基礎科学（一般）9件 助成額 52,500 千円（助成期間 2年）

基礎科学（酵母）3件 助成額 12,000 千円（助成期間 2年）

第1期からの継続分と合わせた助成件数と金額の内訳を表1に、研究助成対象者及び研究課題を表2-1及び表2-2に示す。

表1. 2018年度研究助成(新規および継続)一覧

分野	応募 件数	助成件数（件）			2018年度支払金額（千円）		
		新規採択	継続	合計	新規採択	継続	合計
基礎科学(一般)	29	9		9	32,700		32,700
基礎科学(酵母)	17	3	4	7	7,000	5,000	12,000
総計	46	12	4	16	39,700	5,000	44,700

表2-1. 基礎科学（一般）研究助成対象者及び研究課題（氏名の五十音順）

氏名	所属	研究課題
上田洋司	藤田医科大学 総合医科学研究所	エクソソームへのタンパク質輸送を担う新規翻訳後修飾因子 Ubiquitin-like protein 3 (UBL3)による翻訳後修飾機構の解明
伊原伸治	有明工業高等専門学校	すべての基底膜タンパク質の細胞外局在のライブ観察とその局在決定機構の解明
今村壮輔	東京工業大学 科学技術創成研究院 化学生命科学研究所	葉緑体とミトコンドリアを結ぶシグナル伝達系の解明
小田裕香子	京都大学 ウイルス・再生医科学研究所	生体内でタイトジャンクション形成を制御する仕組みの解明

佐藤敦子	お茶の水女子大学 基幹研究院	母性 mRNA の由来の全貌と、その遺伝の解明
白川一	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科	植物異形細胞における葉緑体分化抑制の分子メカニズムと生理的意義の解明
竹下典男	筑波大学 生命環境系	糸状菌における菌糸生長の屈性の分子機構
若林憲一	東京工業大学 科学技術創成研究院 化学生命科学研究所	ボルボックス目緑藻の多細胞化・光行動・光防御能の連関
和田正三	首都大学東京 理学研究科	葉緑体アクチン繊維による葉緑体運動機構の解明

表 2-2. 基礎科学（酵母）研究助成対象者及び研究課題 (氏名の五十音順)

氏名	所属	研究課題
小田有沙	東京大学 総合文化研究科	細胞間コミュニケーションを介した多細胞応答としての飢餓ストレス耐性の獲得
加納純子	大阪大学 蛋白質研究所	サブテロメア機能構築原理の解明
水沼正樹	広島大学大学院 先端物質科学研究科	代謝が関与する寿命延長機構の解明

2019 年 4 月 19 日に研究助成贈呈式を行い、理事長より助成対象者に贈呈書が授与された。基礎科学（酵母）の助成対象者には、併せて大隅基礎科学創成財団酵母コンソーシアムフェローの称号が授与された。

第 3 期研究助成については、研究助成スケジュールの見直しを行い、2019 年 5 月 10 日から 6 月 30 日まで公募を行った。基礎科学（一般）85 件、基礎科学（酵母）33 件の応募があり、選考を開始した。

2. 研究者と社会との新たな連携を構築する事業

(1) 創発セミナー

財団の活動に賛同する基礎研究者と企業の研究者等が自由に意見を交わし、基礎科学と産業界の新しい協力関係を構築する場として創発セミナーを開催した。年 10 回開催を計画したが、2019 年 7 月の創発セミナーを寄付者への「感謝の集い」として開催することとし、開催準備のため 6 月の創発セミナーは中止としたため、表 3 に示す 9 回の開催となった。

表 3. 2018 年度創発セミナー

日時、回	内容
2018/9/20 第 1 回	公益認定記念「日本の基礎科学の発展をめざして」（会場：東京都 学士会館） 139 名出席（企業 94、財団関係者 36、演者 2、メディア 7） 基調講演 大隅基礎科学創成財団理事長 大隅良典 記念講演 「神岡の地下からみた日本の基礎科学」 東京大学宇宙線研究所所長 梶田隆章氏 パネルディスカッション JST 理事長 濱口道成氏、梶田隆章氏、大隅良典

2018/10/30 第2回	「生物の“体内時計”を探り、操作する」(東京都 SMBC コンサルティング) 41 名出席 (企業 23、財団関係者 16、演者 2)
	講演 1 「24 時間を計るタンパク質の仕組み：概日時計の基本デザイン」 名古屋大学名誉教授 近藤孝男氏 講演 2 「動物が季節を感じる仕組みの解明：ヒトの冬季うつ病の理解と克服に向けて」 名古屋大学教授 吉村崇氏
2018/11/21 第3回	「酵母 生存戦略の生理学－代謝変換から定常期」(京都府 京都楽友会館) 39 名出席 (企業 14、財団関係者 20、演者 5)
	はじめに「酵母細胞にとっての定常期とその生存戦略とは？」 京都大学教授 阪井康能氏 講演 1 「増殖期から定常期に至る酵母オルガネラの変化」 奈良先端科学技術大学院大学准教授 木俣行雄氏 講演 2 「栄養源飢餓ストレスがビール酵母に及ぼす影響について」 キリン株式会社酒類技術研究所主査 善本裕之氏
2018/12/6 第4回	「魚の性と社会 ～メダカからマグロまで～」(東京都 東工大田町 CIC) 33 名出席 (企業 11、財団関係者 20、演者 2)
	講演 1 「分子機構から見てきた性の特徴－幹細胞が生み出す性のフレキシブルさと頑強さ」 名古屋大学教授 田中実氏 講演 2 「海水魚の完全養殖」 近畿大学教授 家戸敬太郎氏
2019/2/15 第5回	アドバイザー会議「大学と企業における人材を巡る現状と将来」 (東京都 学士会館) 33 名出席 (企業 18、財団関係者 13、演者 2)
	話題提供 東京大学教授 武田洋幸氏、岩手大学教授 上村松生氏 旭化成株式会社 浅野敏雄氏、コニカミノルタ株式会社 腰塚國博氏
2019/3/22 第6回	「来るバイオエコノミーの時代を切り拓く－微生物の生存戦略の先端研究」 (東京都 SMBC コンサルティング) 42 名出席 (企業 21、財団関係者 17、演者 4)
	講演 1 「細胞だけで生きていく：微生物からの生命論再考」 東京工業大学教授 田中寛氏 講演 2 「広がり続ける微生物フロンティアから見る生命機能」 京都大学教授 跡見晴幸氏
2019/4/19 第7回	研究助成贈呈式及び講演 (東京都 西町ビル会議室) 40 名出席 (企業 5、財団関係者 22、演者 13)
	講演「驚くべき生命のエネルギー基本戦略：水素燃料電池・水素イオン勾配・回転タービン・ATP」 京都産業大学シニアリサーチフェロー 吉田賢右氏

2019/5/21 第 8 回	「酵母の環境適応戦略とその進化～栄養代謝に注目して」 (千葉県 千葉ペリエホール) 35 名出席 (企業 12、財団関係者 21、演者 2)
	はじめに「酵母細胞が生育する環境－実験室、醸造から自然界まで」 千葉大学教授 松浦彰氏 講演 1 「酵母細胞にとっての栄養検知」 浜松医科大学教授 前田達哉氏 講演 2 「ゲノムが語るビール酵母の代謝と進化」 サントリーグローバルイノベーションセンター専任上席研究員 児玉由紀子氏
2019/7/26 第 9 回	感謝の集い (東京都 如水会館) 114 名出席 (企業 44、個人 39、財団関係者 25、演者 4、メディア 2)
	財団の活動報告 大隅基礎科学創成財団理事長 大隅良典 研究助成対象者からのメッセージ 東京大学大学院総合文化研究科助教 小田有沙氏 有明工業高等専門学校准教授 伊原伸治氏 講演会「宇宙と生命」 講演 1 「宇宙環境の生物影響 - 宇宙生命科学・宇宙医学が果たす役割」 東京理科大学特任副学長、宇宙飛行士 向井千秋氏 講演 2 「宇宙での生命の起源と生命探査」 東京薬科大学名誉教授 山岸明彦氏

(2) 市民講座

市民及び学生に基礎科学の面白さや大切さを理解してもらい、科学の振興を支援する文化を醸成すること及び地域社会への貢献を目的として、2019年3月2日、千葉大学けやき会館において第1回の市民講座を開催した。「生物の不思議：『最小の分子モーター』と『母性遺伝』の仕組み」という全体テーマのもと、3名の講師が講演及び質疑応答を行った（当財団理事長 大隅良典、千葉大学教授 村田武士氏、群馬大学准教授 佐藤美由紀氏）。参加者は約240名であった。

今期2回の市民講座開催を計画し地方での開催を検討したが、1回の開催にとどまった。

(3) 次世代を担う小中高生と研究者のふれ合いの集い

次世代を担う人材を育てるために、小中高生が最先端の科学に触れ科学者と交流する場として、第1期に第1回を開催した。今期は第2回と第3回の2回開催した。

第2回「小中高生と最先端研究者とのふれ合いの集い」は、2019年1月12日、東京大学伊藤国際学術研究センターにおいて「科学のおもしろさを体験しよう」というテーマのもと、講演（東京大学教授 三浦正幸氏、当財団理事長 大隅良典）、生物試料観察、及び協賛12団体が出展した科学体験ブースで実験等を行った。参加者は約400名であった。

第3回は、7月15日に京都大学百周年時計台記念館にて開催した。講演（当財団理事長 大隅良典、京都大学教授 梅田眞郷氏）及び協賛14団体による科学体験ブースもあり、約1,300名の参加があった。

II. 管理業務

1. 財団の体制整備に関する事項

より円滑な財団運営をめざして、2018年9月1日に事務所を横浜市緑区長津田町の東京工業大学 S2 棟に移転し、変更登記及び内閣府への変更届出手続きを行った。

財団の業務執行強化のため、2018年10月23日の定時評議員会において、新任理事2名が選任され、2019年1月29日の理事会において業務執行理事（常勤理事）1名の追加が承認され、常勤理事2名体制となった。変更登記及び内閣府への変更届出手続きを行った。

また、財団の事業の1つである、大学と企業とのより良い関係構築について助言を得るため、財団外部の有識者より成るアドバイザー会議を立ち上げ、2019年2月15日に第1回アドバイザー会議を開催した。

2019年7月10日開催の理事会にて承認された2019年度事業計画及び収支予算に基づき、事業計画に係る定期提出書類を内閣府に提出した。

2. 理事会及び評議員会の開催

(1) 第1回理事会（2018年8月16日）（決議の省略）

第1号議案 事務所移転に伴う「定款」一部変更（案）の決定の件

第2号議案 第1号議案の変更（案）を評議員会に諮る件

第3号議案 アドバイザー会議規程の決定の件

(2) 第1回臨時評議員会（2018年8月22日）（決議の省略）

第1号議案 「定款」一部変更の件

報告 アドバイザー会議規程の決定の件

(3) 第2回理事会（2018年10月2日）

報告事項 理事長及び常勤理事の職務の執行状況の報告について

第1号議案 第1期（2017年度）計算書類・事業報告の承認の件

第2号議案 理事2名 候補者の決定の件

第3号議案 第1回定時評議員会招集の決定の件

第4号議案 賛助研究者の募集の件

第5号議案 今後の活動方針について

(4) 第1回定時評議員会（2018年10月23日）

第1号議案 第1期（2017年度）計算書類・事業報告の承認の件

第2号議案 理事2名選任の件

報告事項 1. 事務所移転、定款変更の件

2. 第2期事業計画書、収支予算書の変更の件

3. 賛助研究者の募集の件

4. その他

(5) 第3回理事会 (2019年1月29日)

報告事項 理事長及び常勤理事の職務の執行状況の報告について

第1号議案 執行理事(常勤理事)1名選定の件

第2号議案 常勤理事の定例報酬月額の変更の承認の件

第3号議案 第2期 研究助成対象者の決定の件

第4号議案 第2期 補正予算の承認の件

第5号議案 「助成金交付規程」の一部変更の承認の件

第6号議案 「会員に関する規程」の一部変更の承認の件

第7号議案 「旅費規程(案)」の承認の件

第8号議案 資金運用(案)の承認の件

第9号議案 創発セミナーの件

第10号議案 寄付の拡大の件

第11号議案 収益事業の追加の件、その他

(6) 第4回理事会 (2019年7月10日)

報告事項 理事長および業務執行理事の職務の執行状況の報告について

第1号議案 賛助研究者募集の承認の件

第2号議案 第3期(2019年度)事業計画書及び収支予算書の承認の件

第3号議案 収益事業の追加の件

第4号議案 その他

3. 選考委員会の開催

選考委員会(基礎科学(一般))

第1回選考委員会開催(2018年12月6日)

第2期研究助成(基礎科学(一般))に関して、選考委員の書面審査の結果をもとに議論し、採択候補を選定

選考委員会(基礎科学(酵母))

第1回選考委員会(2018年11月13日、スカイプ会議)

第2期研究助成(基礎科学(酵母))に関して、選考委員の書面審査をもとに議論し採択候補を一次選考

第2回選考委員会(2018年11月21日)

研究対象と分野、地域性や年齢等も考慮し、予算額などに鑑み、採択候補を選定

4. 寄付・会員の状況

第2期は、個人、法人・団体からの寄付、及び法人会員年会費として総額178,959,428円を受領した。個人寄付、法人・団体からの寄付、会費とも第1期より件数は増加した。

原則、週1回行う理事長との打合せにおいて収支の状況を報告した。

2019年7月31日現在の寄付、会員の状況は表4の通り。

表4. 寄付及び会費の状況

(() 内は寄付者の延べ数)

	個人	法人、団体寄付	法人、団体会費	計
第1期	115,415,000 円 (117 名)	55,212,708 円 (14)	13,000,000 円 会員数 10	183,627,708 円
第2期	122,899,428 円 (297 名)	24,060,000 円 (23)	32,000,000 円 会員数 24	178,959,428 円
計	238,314,428 円 (414 名)	79,272,708 円 (37)	45,000,000 円 会員数 24	362,587,136 円

5. 広報活動

財団のホームページに財団の事業及び活動の紹介を適時に行った。

パンフレットの内容更新等、寄付金及び会員募集に必要なツールの整備を行い、パンフレット等の送付依頼に対応した。

当財団の研究助成に関する認知度を上げるため、第2回研究助成の結果についてプレスリリースを行った。第3回研究助成の公募について関連28学会に連絡をとり、学会ホームページへの掲載及び学会からの案内送付を依頼した。

以上